

# 競技注意事項

## 1 競技規則について

- (1) 本競技会は2021年度公益財団法人日本陸上競技連盟競技規則並びに本競技会申し合わせ事項により実施する。
- (2) 高体連規則により、引率教員がない学校の出場は認めない。

## 2 招集について

- (1) 招集所は、陸上競技場メインスタンド下の雨天練習場に設ける。
- (2) 招集時間

### ①トラック・フィールド競技

競技種目	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック競技	競技開始 30分前	競技開始 20分前
フィールド競技	競技開始 60分前	競技開始 50分前
棒高跳	競技開始 120分前	競技開始 110分前

### ②混成競技

競技種目	招集開始時刻	招集完了時刻
両日共、第1種目 トラック 走幅跳(女)	競技開始 30分前	競技開始 20分前
	競技開始 60分前	競技開始 50分前
第2種目以降	混成競技控室でトラック20分前、フィールド40分前に混成競技係が招集する。	

### (3) 招集手順

- ①競技者は前記(2)に示した招集開始時刻に正面玄関より招集所(棒高跳については実施地点)に入場し、その後、審判員の指示によりアスリートビブス・競技用靴・持ち物等の点検を受け、800m以上のトラック競技者は腰ナンバーカードを受け取る。
- ②電子・通信機器(ビデオ・ラジオ・CDプレーヤー・トランシーバー・携帯電話もしくは類似の機器等)は競技場内に持ち込むことができないので、あらかじめ学校関係者に預けておくこと。また、通信機能を持つ腕時計などは、あらかじめ通信ができない状態にしておくこと。招集所や競技場所でこれらのことが明らかになった場合は、主催者で預かり、競技終了後に返却する。(競技規則TR6.3.2に該当)
- ③招集所は、当該種目の競技者以外の立ち入りを禁止する。
- ④代理人による招集の最終確認は原則として認めない。ただし、2種目を同時に兼ねて出場する競技者は、1種目の招集時に2種目同時出場届(TICで配布)を招集所に提出すること。なお、当該競技者でトラック競技が先に開始される場合は、トラック競技終了後ただちにフィールド種目の競技場所に移動し、担当競技役員に申し出ること。また、フィールド競技の途中でトラック競技に出場する競技者は、競技開始前、当該競技役員にその旨を申し出ること。(競技規則TR4.3を確認するため)
- ⑤リレーのオーダーについては、メンバー及びオーダーの変更の有無に関わらず、ラウンドごとに招集完了時刻の1時間前までにオーダー用紙(TICに準備)をTICに提出すること。1度提出したオーダーについては変更できない。ただし、けが等により出場が困難と認められた場合は、直ちに本部に連絡すること。医務員の判断による変更は、出場選手の変更のみ認められ編成の変更は認められない。
- ⑥リレーのエントリー以外からリレー出場の場合は、オーダー用紙の「※欄の出場種目」と記載ページを記入すること。
- ⑦出場種目を欠場する場合は、招集開始時刻までに欠場届(TICで配布)をTICに提出すること。
- ⑧混成競技の招集は、両日共、第1種目の招集を2、(2)、②の表により行う。2種目以降の招集については、各種目前(トラック20分前・フィールド40分前)に混成競技係が混成競技控所で招集する。その後現地で種目ごとに最終コールを行う。
- ⑨招集完了時刻(移動開始時刻)に遅れた競技者は、当該競技種目を欠場したものとして処理する。

### 3 アスリートビブスについて

- (1) 出場者は主催者より配布されたアスリートビブスを、そのままの大きさに胸部と背部につけること。ただし、競歩競技および混成競技の最終種目では、混成競技係にて別に貸与するアスリートビブスを胸部につけること。貸与されたアスリートビブスは競技終了後に返却すること。
- (2) 800m以上のトラック競技者及び4×400mRの2・3・4走者は、招集所で競技者係から渡されたレーンナンバーカードをつけること。
- (3) 跳躍種目の出場者は、その種目に限り胸または背につけるだけでもよい。

### 4 競技について

- (1) 当該競技に参加する競技者以外は、競技場内に立ち入らないこと。
- (2) トラック・フィールド・混成競技におけるレーン及び試技順についてはプログラム記載通りとする。
- (3) トラック競技の判定は、すべて写真判定装置を使用する。
- (4) スタート時に不適切行為があった場合は、審判長による警告を与える。ただし、「Set」の合図後の「ピク付き」は、警告とせず注意とする。また、警告累積による失格の場合は、当該種目のみの失格とする。
- (5) トラック競技において、セパレートレーンを使用する種目については、フィニッシュライン通過後も自分のレーン（曲走路）を走ること。
- (6) 4×100mリレーの第2・3・4走者は、競技者係から受けた目印用テープのみを置くことができる。レース終了後は第1・2・3走者が自チームのテープを取り除くこと。
- (7) 4×400mリレーの第3・4走者は、競技役員の指示に従い前走者が200mスタート地点を通過した順位で内側から並び待機する。その後に順位に変動があっても並び順を変えてはならない。なお、バトンを受け渡した後の走者は、後続の他チーム走者の走路を妨害しないように留意すること。
- (8) リレーに出場のチームは、各校同一のユニフォームを着用すること。
- (9) 競技用シューズのスパイクは、トラック種目9mm以下、フィールド種目12mm以下とする。
- (10) 競技用靴については、シューズに関する競技規則を適用する。ただし、フィールド種目においては、競技用シューズの靴底の厚さの規定については適応外である。
- (11) 長距離・競歩種目については、気象の状況により給水を設けることがある。
- (12) 走高跳、棒高跳の練習及び競技中のバーの上げ方は、次のとおりとする。  
ただし、気象条件等により変更することもある。順位決定のためのバーの上げ下げは、走高跳2cm、棒高跳5cmとする。
  - 男子走高跳 1m65 1m85（練習） 1m70 1m75 1m80 1m85 1m88 （以降3cm）
  - 女子走高跳 1m35 1m55（練習） 1m40 1m45 1m50 1m53 （以降3cm）
  - 男子棒高跳 3m30 3m80 4m20（練習） 3m40 3m50 3m60 （以降10cm）
  - 女子棒高跳 2m00 2m60 3m40（練習） 2m10 2m30 2m50 （以降10cm）
- (13) 混成競技走高跳の練習及び競技中のバーの上げ方は、次のとおりとする。
  - 男子八種 1m30 1m50 1m70（練習）  
1m35 1m40 1m45 1m50 1m55 1m60 1m65 1m70 1m75 1m78 （以降3cm）
  - 女子七種 1m05 1m30 1m45（練習）  
1m10 1m15 1m20 1m25 1m30 1m35 1m40 1m43 （以降3cm）
- (14) 跳躍種目及びやり投の競技者は、助走路の外側に主催者が用意した目印用マークを各競技者2個まで置くことができる。なお、走高跳の競技者は、競技者係から受けた目印用テープのみを置くことができる。
- (15) 男子三段跳の踏切板は砂場から11mに設置する。女子三段跳びについては、9mとする。
- (16) 棒高跳に出場する選手は、「棒高跳アップライト申請用紙」（TICに準備）を招集の際に提出すること。提出後に変更を希望する場合は、競技開始前、当該競技役員にその旨を申し出ること。
- (17) サークルから行う投てき競技者は、サークル直後あるいはサークルに接して目印用マークを各競技者1個まで置くことができる。
- (18) 投てき競技に出場する競技者は、練習場を含めて役員の指示に従い、事故防止に十分に注意すること。
- (19) フィールド競技は、本競技場内では、2回程度の公式練習を行う。

## 5 競技の抽選及び番組編成について

- (1) トラック種目における決勝の組分け及びレーン順は、本大会の申し合わせに従い番組編成員によって行う。その結果は1階正面玄関前に掲示する。
- (2) トラック種目における決勝へのプラス進出者については、当該競技者の最下位に同記録が複数出た場合、1000分の1秒まで判定する。それでも決まらない場合は、抽選とする。ただし、1500m以上の長距離種目での同記録者は全員、決勝へ進むことができる。

## 6 抗議と上訴について

- (1) 競技の結果または競技実施に関する抗議は、各県監督または当該競技者の監督（学校が認める生徒引率ができる外部指導者を含む）により、その結果が発表されてから30分以内（同一日に次のラウンドが行われる種目では15分以内）に、審判長に対して口頭でなされなければならない。その際は、TICに申し出ること。なお、正式発表の時刻とは、結果の放送時刻とする。
- (2) 抗議に対して審判長は速やかに裁定するが、審判長裁定を不服としてさらに上訴する場合は、各県監督または当該競技者の監督により、預託金10,000円を添えて「上訴申立書」を総務または総務員を通してジュリーに提出されなければならない。  
なお、「上訴申立書」の提出時刻は、その種目の結果が変更された正式発表から30分以内（同一日に次のラウンドが行われる種目では15分以内）に、または、その種目の結果が変更されなかった場合は抗議者にその旨が通知されてから30分以内（同一日に次のラウンドが行われる種目では15分以内）とする。

## 7 競技用具について

- (1) 本競技会で使用する用器具は、棒高跳びポール以外、すべて主催者が用意したものを使用しなければならない。
- (2) やりについては、投てき器具一覧に無いものと、1本しかないものに限り、当日検査合格したもののみ使用を認める。検査して合格した用具については、用器具係が預かり競技場所に運搬する。また、共用とするので学校名を記入の上、検査場所に持参すること。なお、返却については検査場所で行う。
- (3) 検定は、第1ゲート付近器具庫前に行う。希望者は、下記の時間帯にTICに申し出ること。

性別	検査用具	日	時間
男子	やり	17日	10:20～11:20
女子	やり	16日	13:30～14:30

※混成競技の選手で、個人のやりを使用する場合は、混成競技係に事前に連絡し、直前の競技終了後やりを預け検査を受け取ること。

## 8 練習について

- (1) ウォーミングアップ及び練習は、補助競技場・投てき練習場で行うこと。※雨天練習場は使用禁止。
- (2) 練習会場及び練習時間については別表を参照のこと。
- (3) 練習場の使用については、役員（練習会場係）の指示に従い安全に留意すること。
- (4) 本競技場内における競技前の練習については、すべて競技役員の指示に従って行うこと。
- (5) 投てきの練習について
  - ①投てきの練習については、砲丸投、円盤投、ハンマー投は投てき練習場、やり投は第3競技場で行うこと。
  - ②練習は事故防止のため、引率教員が必ず付き添い、役員（練習会場係）の指示に従うこと。
- (6) 棒高跳の練習について  
棒高跳の練習は、本競技場および第3競技場で行うこと。ただし、競技当日の練習については、本競技場で行うこと。（1日目は男子のみ、2日目は女子のみとする）
- (7) 補助競技場
  - ①第3競技場フィールド内はやり投の練習で使用するので、やり投以外の競技者はフィールド内には立ち入らないこと。
  - ②ジョグ等をする場合は、トラック外側を使用する。
  - ③走路の逆走は禁止する。

## (8) 投てき練習場

- ①投てき練習場は、投てき種目競技者以外は立ち入らないこと。
- ②投てき練習場外の芝生地域では投てき練習をしないこと。

## 9 表彰について

- (1) 各種目の表彰は、第6位までの放送による紹介とし成績発表後直ちに行う。第6位までの入賞者は決勝終了後、誘導係の指示に従って表彰者控所で待機すること。なお、ユニフォーム（上）を着用すること。
- (2) 学校対校の表彰は、総合の部の優勝校を放送により紹介する。  
なお、同得点の場合は、上位種目の多い方を上位とする。
- (3) 入賞者の得点は、1位6点、2位5点、以下4・3・2・1点とする。

## 10 個人情報の取り扱いに関して

- (1) 本大会に関して寄せられた個人情報は、本大会の目的以外には使用しない。
- (2) 本大会が認めた報道機関により撮影された写真が、新聞・雑誌・大会報告書・ホームページ等で公開されることがある。
- (3) 本大会が認めた報道機関等が撮影した映像が、中継・録画放送されることがある。

## 11 IDの配布について

大会1日目の『大会前体調管理チェックシート』・2日目、3日目の『大会中体調管理チェックシート』の提出によりTIC（各県受付）にてIDを配布する。なお、2日目、3日目については、『シール』を配布するのでIDへ貼付すること。なお、大会期間中は、必ず身につけて行動すること。

## 12 その他

- (1) 記録はアナウンスを行うが、宮崎陸上競技協会速報サイトにも掲載する。なお、無観客に伴い、競技の様態を可能な限りYouTubeにてLIVE配信する予定である。詳細については、宮崎陸上競技協会HPで確認すること。
- (2) 各競技場等の開門時間は7：30、閉門時間は18：00とする。
- (3) メイン競技場（競技終了後）・補助競技場・投てき練習場の練習時間は18：00までとする。
- (4) 駐車場は6：00開門、20：00閉門。時間外の公園内の駐車は禁止とする。
- (5) メイン競技場スタンドにはテントの設置は認めない。また、トイレ出入り口前には控え場所を設置しないこと。
- (6) 各校応援用横断幕については一校一枚とし、部旗・のぼりも同様とする。掲示はメイン競技場サイド・バックの各スタンド最後列に括り付けること。応援は拍手のみとし、声を出しての応援は禁止する。
- (7) トラック種目スタート時は応援を行わないこと。フィールド競技を行っている際、その付近での応援は禁止する。
- (8) コーチングエリアを設置する。コーチングエリアには、監督・コーチ以外立ち入らないこと。
- (9) 選手の衣服運搬は行わないため、ビニール袋等（学校名記載）を各自で準備しておくこと。
- (10) 試技の確認などでビデオを見せる場合は、スタンドからのみ認める。吊り下げや手渡し、競技者が視聴のため競技区域から離脱する行為は認めない。
- (11) 棒高跳用ボールの返送は、10月9日（土）16：00までにTICに、指定の送り状を貼り付けて持っていくこと。
- (12) 弁当の引渡し及び回収は1階正面玄関付近で行う。引渡時間は10：30～14：30までとし、回収時間は、15：00までとする。
- (13) ゴミ類は、すべて各学校で責任をもって持ち帰ること。
- (14) 各学校の控え所は譲り合って使用し、必要以上の広さを確保専有しないこと。また、目印等には養生テープ以外は使用しないこと。
- (15) 競技中に写真撮影を行う者は、TICにて所定の手続きを行い、報道関係者にのみ『ビブス』を貸与する。また、注意事項を厳守し撮影を行うこと。
- (16) 撮影は全てスタンドから行うこと。ただし、次の場所はスタンドであっても撮影はできない。
  - ①フィニッシュより第1ゲート付近までのスタンド
  - ②短距離種目（スターティングブロック使用種目）の後方からの撮影
  - ③係が巡回し、撮影した画像を確認することがあります。問題あると判断した場合は、その場で削除していただきます。